

# 国際金融論（2011） 期末試験

担当 岩村 英之

実施日 2011年7月29日 13:25-14:25

## 注意

- 記号を用いる場合，講義と同じ用法であれば定義しなくともよい（為替レート  $E_0$  など）。
- 通貨価値の変化について，「為替レートが上がる・下がる」等の曖昧な表現を用いないこと。
- 問題は裏面にもあるので注意すること。
- 解答例は今晚，講義のウェブページで公開します。

## 問題

1. 円＝ドル・レートが円高に変化したとする．生産が変化しない超短期の視点で考えるとき，この円高の要因として論理的におかしいものはどれか．(a)～(d) からひとつ選びなさい【答えのみでよい】(5点)
  - (a) 日本の物価水準が上昇した．
  - (b) 日本銀行が貨幣供給量を縮小した．
  - (c) ドル建債券の利子率が上昇した．
  - (d) 期待円＝ドル・レートが円高へと変化した．
2. 日本の経常収支が悪化したとする．IS バランス・アプローチの枠組で考えた時，その要因として論理的におかしいものはどれか．(a)～(d) からひとつ選びなさい【答えのみでよい】(5点)
  - (a) 貯蓄が増加した．
  - (b) 投資が増加した．
  - (c) 財政支出が増加した．
  - (d) 税収が減少した．
3. ある年の日本の経常収支が赤字であったとする．この年，日本の外国に対する純資産は増加したか減少したか【答えのみでよい】(5点)
4. 外国人が日本国内で行った生産活動（の結果）は，日本の GDP に含まれるか，含まれないか．【答えのみでよい】(5点)
5. 最近，日本の長期金利（＝満期が長い貸出・借入を行う際の利子率）が急上昇する可能性が取りざたされている．利付国債の利子率の計算式を明示し，また日本の政府債務の現状に簡単に触れつつ，このような現象が起こるロジックを説明しなさい．ただし，「長期金利」は国債の利子率に連動して決まるとする（15点）
6. 円建債券の利子率が 0.02，ドル建債券の利子率が 0.05 であるとする．人々が 1 年後の円＝ドル・レートを 84 円と予想しているとき，今日の円＝ドル・レートは理論的にいくらになると考えられるか，簡潔に説明しなさい．小数点第 2 位以下は切り捨ててよい（10点）

7. アメリカ連邦準備銀行 (= 米国の中央銀行) が金融緩和を行ってドル建債券の利子率を引き下げたとする。このことが日本のマクロ経済に及ぼす影響について、以下の問いに答えなさい。
- (a) 生産 (GDP) が変化しない超短期において、利子率および為替レートにどのような変化が及ぶと考えられるか、図を用いて考察しなさい。結論だけでなく、プロセスも説明すること (15 点)
  - (b) 生産 (GDP) が反応する (が物価は動かない) 期間を想定すると、為替レート・生産にどのような影響が出ると考えられるか、図を用いて考察しなさい。結論だけでなく、プロセスも説明すること (15 点)
  - (c) 上の (b) のケースで、利子率はどう変化すると考えられるか。説明しなさい (10 点)
8. 固定相場制を採用すると、為替レート安定の代償としてどのような費用を負担しなければならないか。また、そのような費用が生ずるメカニズムも簡単に説明しなさい (たとえば、円を米ドルに固定していると仮定し、ドル建債券の利子率が低下したらどうなるかを、超短期の視点で説明すればよいでしょう。)(15 点)